たま

広報　2026年（令和８年）　11月5日号　No.1535









多摩市×富士見町

40年の絆をこれからも









2　多摩市×富士見町　ともに築いた40年
3　令和８年度 多摩市市民表彰受賞者
4　老人クラブで地域の仲間と楽しく過ごしませんか？
5　すべての人がともに生きるフェスティバル ともフェス
6　子どもたちの様子で「あれ？」と気になることはないですか？
7　気づかないうちにDV被害者になっていませんか？、犯罪被害にあわれた方やその家族を支えるために
8　「ポムポムプリンわんわん日和 at 多摩中央公園」開催決定！
9　講座・催し物
10　将来も安心して住み続けられるまちを目指して
11　市政その他のお知らせ、健康だより
12　多摩市で一緒に働きませんか？

市長コラム　多摩の風　第146回

レイキャビク市と姉妹都市に

アイスランドに行ってきました。到着早々の夜、激しい嵐の歓迎。羽田空港からフィンランドのヘルシンキ経由でレイキャビク市へ。アイスランド滞在は正味二日半の強行軍でした。

姉妹都市締結式は10月15日午後４時からホフディハウスで開かれました。ちょうど40年前の10月11日から12日、米国のロナルド・レーガン大統領とソ連共産党のミハイル・ゴルバチョフ書記長による首脳会談が開かれ、後の核軍縮につながる契機となった記念すべき館です。この館で、レイキャビク市のヒルドゥル・ビョルンスドッティル市長と私とで締結のサインを交わしました。

ヒルドゥル市長には４人のお子さんがいて末っ子は３歳。市長や議員にも出産休暇、育児休業・時短の制度があり取得することは当たり前だそう。日本では女性市長が出産休暇を取ることで大騒ぎとなった話をしたところ、ロールモデルとして頑張ってほしいとのエールをいただきました。

中学・高校で日本語が普通に飛び交っているのには驚き。アニメ・ゲームの影響で日本大好きの子どもが多いそう。大学でも日本語選択の学生が増え、夢は日本に行きたいとの声が。

もともとは東京２０２０オリンピックでアイスランド選手団の受け入れを契機にホストタウンとなってからのご縁。長野県富士見町とは友好都市40周年を迎え、レイキャビク市とはこれからのお付き合い。よろしくお願いいたします。

（多摩市長　阿部裕行）

発行　多摩市　〒206-8666　東京都多摩市関戸６-12-１　編集　秘書広報課
市役所の代表電話　042（375）8111　代表ファクシミリ　042（371）2008
公式ホームページ　https://www.city.tama.lg.jp/

LINE @tama_city　X（旧Twitter）@nyantomo_tama

たま広報は毎月５日（1月・4月は１日）と20日の月２回発行しており、発行日の２日前から発行日にかけて、市内の全世帯・事業所に配布しています。